

十七名が日頃の研究を発表

参加者四百三十名で盛会だった

度会村研究体験発表大会

去る二月二十五日(土)午後二時から午後八時までの間に、度会村教育委員会主催、度会村教育会協賛の「度会村研究体験発表大会」が、度会村公民館大ホールで開催された。参加者は、度会村内外から四百三十名に達した。発表者は、度会村内外から十七名に達した。発表内容は、度会村内外の農業、畜産、工業、商業、交通、文化、スポーツ、社会問題など、多岐にわたった。発表は、午後二時から午後八時までの間に、度会村公民館大ホールで開催された。参加者は、度会村内外から四百三十名に達した。発表者は、度会村内外から十七名に達した。発表内容は、度会村内外の農業、畜産、工業、商業、交通、文化、スポーツ、社会問題など、多岐にわたった。

これからの果樹栽培について

(上)

伊勢農業改良普及所 岡 博 保

① 作れば売れる時代から

わが国の農業は、食糧不足の終戦時から28年頃までは、食糧増産1本でめざましく発展した。この間、農業人口も増加した。農地解放で等細農家数が増加したことも事実である。しかし、食糧事情が好転してきた28年頃より、一般の所得の伸びを反映して消費水準が上がり、食糧に対する支出の割合は一般消費の伸びより低調になった。ところが増産第一主義だった農業は、簡単に生産制限はむずかしいから価格支持の強い生産物は値下りして、豊作貧乏の傾向が現われはじめ、都市と農村の所得差が広がり、農業の地位低下がめだつてきた。これからが問題である。農林漁業基本問題調査会によると食糧支出がマイナスに転ずる。つまりエンゲルス係数の限度は、個人の年間所得が3万6千4百円の線だというから、現在の個人所得8万2千8百円は、その近くまで来ている。33年頃からわずかながら減りはじめていた。

10年先では、米は現在の97%減は30%と消費がかなり減少する反面、果物、畜産物が2-3倍程度増えるようである。しかしこれらの物は、貿易自由化の対象にあげられるもので、国際競争力に耐えるような生産手段が必要になるだろう。

現在、農村が都市の底辺になるのを察知してよいであろうか。都市と農村の生活水準に差が生じないように、これからの農業のあり方について、お互いに充分検討し協力し合つて、長期的農業振興並びに農業設計を樹立すべきであつて、近い火にあたるような考え方を排除しなければならない。

② 果実の消費はどうだろうか

お互いに所得が増えれば、食生活は最も豊かになるだろう。畜産時に(肉、卵

牛乳)が増加すれば、保健上からも当然アレルギー性食品の果物も増える事になる。ここ10年先、果実は現在より2倍になるだろうと統計上観測している。

欧米人とわれわれ日本人と果物の消費量を年間比較してみると、欧米人が50キログラムに対し日本人が24キログラムだところで、約半分にも満たない量である。

欧米人は、果物を日常生活の必需品として扱っている。日本では八百屋の店頭に立派な果実がたくさんあるが、ただ装飾品の存在である。また、消費量も限られている。国民大衆の食品として、まだまだ先遣い感があるのである。果物が菓子より健康上優れている事を認めて、大衆の消費にむくような値段になれば、すばらしく伸びて生産者の言葉を知らなくなるだろう。

この生産と流通の関係を改善していくために果樹栽培農家が安定した生産を将来、維持できるように果樹農業振興法がとりあげられるようになった。

みかんを探りあげても輸出面で、カナダ、イギリス、西ドイツ、フランス等にカンズメとして相当な外貨を獲得している。現在、国内の需要が多いために海外からの需要をある程度断つている状態だと聞いている。その位にみかんの需要は加工面の開拓、ジュース等により将来生産過剰は起り得ないと、みかん通は観測している。

現在のジュースは大部分が人工ジュースで、天然ジュースは比較的少なく、また価格も人工ジュースの3-4倍もしている状態である。

【注】 次号では「果樹を新植する場合の心構え」「どんな果樹がよいか」など、これから果樹栽培をはじめの人を対象に書いていただきます。



——内城田中学校で成人式——

今年の成人式は、成人者と来賓130名が参加、内城田中学校で挙行されました。式は、福井村長の式辞、記念品の贈呈、来賓祝辞があり、成人者を代表して、和井野の西野俊夫君が成人の日の決意を力強く述べました。そのあと、映画「大きな赤路」を鑑賞しました。この映画は、機関士の一生を描いた物語り、参加した人々に大きな感動を与えました。成人の前さきの健康を心から祝福しこれからの活躍を期待しましょう。

めんどうな調査ですが
正確にご記入ください
農業基本調査実施

優良団員の表彰など

消防出初式おわる

消防の出初式は、内城田中学校で、消防員11名、小動物ポンプ16台、救急隊が参加し、消防訓練、ポンプ操法、放水試験など、盛況な行事が行われました。また、次の方々が消防出初式として、それぞれ表彰されました。

- 消防出初式表彰者
- 山北光雄、西岡三、中北勇
- 伊勢農業改良普及所
- 加藤信二、森井清一、西岡清、西岡英文
- 村松義彰
- 長尾源一、山本雄一、山下麻生、長井長生、作野
- 一、中村賢二、谷本義雄、藤本正典、伊藤作蔵
- 中井隆、西原一、山本和男、藤田正典

高血圧によくない季節

冬から春への注意

高血圧は、冬から春にかけて、血圧が上昇しやすい季節です。この時期は、寒気が強く、血管が収縮し、血圧が高くなる傾向があります。また、冬は乾燥し、水分不足による血圧の上昇も心配されます。冬から春への季節変わりには、高血圧の予防に注意が必要です。

高血圧の予防には、以下の点に注意してください。

- ① 塩分を控える
- ② 適度な運動をする
- ③ 禁煙、禁酒
- ④ 十分な睡眠をとる
- ⑤ 精神的ストレスを軽減する
- ⑥ 定期的な血圧測定を受ける

活潑な体験発表など

一之瀬婦人会研修会

一之瀬婦人会(会費納付済)の研修会は、去る二月二十五日(土)午後二時から午後八時までの間に、度会村公民館大ホールで開催された。参加者は、度会村内外から四百三十名に達した。発表者は、度会村内外から十七名に達した。発表内容は、度会村内外の農業、畜産、工業、商業、交通、文化、スポーツ、社会問題など、多岐にわたった。

